



北中だより

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより
No25
文責 芹川博文
10月25日(金)

「本物」に触れ「表現」する北中生

～ 後期、様々な体験を通して学ぶ姿 ご協力いただく多くの方に感謝を込めて～

後期が始まり、様々な体験を重ねている北中生。結果はそれぞれ。しかし、全力で挑んだ彼らは、誰もが輝いています。学校外から、その道の「プロ」に来ていただき「本物」に触れる。また、学校の外に出て、これまでの成果を「表現」する。そんな彼らの姿を、感謝の思いも込めてお伝えいたします。



結果は男女共に12位でした。その中に詰まった様々な「ドラマ」。成長と共に、次への挑戦が始まります。

「走る前は自分が一番強い、一番速いと思ってタスキを持ちました。走っている時は、リラックスして自分のペースで走れました。負けず嫌いだから勝てたと思います。自信をもってスタートを切れたことが大切でした。どんな状況になっても落ち着いて自分を信じて走れました。それに、レース中はチームのみんなの応援があって自分の力が100%出たと思います。いや、出ました。」 3年 渡邊 颯斗

※渡邊君は、昨年が一区の区間賞、そして今年は全区間(全て3Kmの同コース)の出場選手の中でのトップでした。日頃からサッカーで鍛え、県外遠征も多いとのこと。彼の姿から北中生の持つ可能性の大きさに鳥肌が立ちました。



23回の伝統ある北中吹部の定演。沢山のOB・OG、保護者と地域の皆様、生徒と先生で最高に盛り上がりました。

「3年間部活をしてきて、楽しい思い出ばかりではありませんでした。ですが、コーチや先生方、部員のみんながいたから最後の定演を楽しく終わることができました。全力で楽しみ、悔いのない演奏ができ本当によかったです！出演された先生方や会場に来てくれた皆さん、本当にありがとうございました。」 吹奏楽部 部長 元村 結愛



「花のやまぐち」の山口様ご夫妻によるフラワーアレンジメントの学習(ゆうゆう学級)の様子。真剣な空気です。



学校運営協議員でもある緒方様による合唱指導。「言葉に力を込めて」のご指導が印象的でした。



3年生高校説明会。「北中は、聞き方が素晴らしいですね」と、お褒めの言葉もいただきました。

地域伝統の狂言に挑戦



熊日新聞でも掲載された染原君の狂言初舞台。観客う向けの演技でした。



福島絵美アナウンサーの講話。「その時にしかできないことがある。」と、話し方と共に、生き方を学びました。左上は、最初に質問した生徒。右上は、休憩時間に質問した生徒。「本物」に触れ「考動」した姿です。